

<参加者の感想>

- ◆物事が始まる時は、トラブルはつきものです。聞くことが苦手、記憶が苦手、操作が苦手・・・このような困難さに個々に対応できると思います。
- ◆ありがとうございました。少し、見えてきました。また、このように情報を共有できる場所があるとうれしいです。
- ◆たくさん教えていただきありがとうございました。キーボー島探してみます！
- ◆主体的がキーワードとなっている今、プログラミング的思考が全ての教育活動で求められていくのだろうと思っています。
- ◆吉谷先生ありがとうございました。ギガスクール構想楽しみになりました。
- ◆どの県も混んとしていることがわかりました。ありがとう吉谷先生。雄弁でした。参考になりました。
- ◆手を洗ってとか両手で持つとかも入れたらいいな一って参考になりました。
- ◆ありがとうございました。自分でもいろいろ試してみたいと思います。
- ◆吉谷先生、実践に基づく大変分かりやすいお話で参考になりました。今後皆さんが実践を積まれた中で、また交流ができればよいなと思いました。ありがとうございました。
- ◆今日はありがとうございました。GIGA スクールについて、多くの先生方の考えが聞けて、とても勉強になりました。
- ◆ありがとうございました。大変勉強になりました。来年度からの一人一台P C、有効に活用していけたらなと思います。
- ◆今日はありがとうございました。1年生が最も iPad を使用しているという事実には驚きました。低学年にとって、タイピングの壁は大きいのかなと思っていました。しかし、写真や録音といった機能を用いることで、上手く付き合っていけるのだと考えさせられました。
- ◆吉谷先生、ありがとうございました。①どの授業のどの場面で使うのか②何を狙って使うのかが、とても大切だと思いました。先生のお話の中で「年配の先生が、この学習の重要性を感じている」という理由が分かるような気がします。要は、ツールや技術ではなく、やはり授業の本質が大事なのだと思いました。
- ◆プログラミング的思考について、とても勉強になりました。試行錯誤する際に、みんなで共有することで、みんなの意見を聞いて、よりよいものにしていけることにとても興味をもちました。
- ◆子どもたちの学びが広がると感じています。最初のルールは大切だと思いますが、子ども達に自由に使って欲しいですね。先生方のお話が聞けて良かったです。
- ◆小学校の先生のサポートをさせていただくことになり、不安を共有いただく先生もおられます。初めてのことでお互い [不安のおぼけ] があるのだと感じます。こうやって、率先されている先生のお話を聞くことはすごく刺激になります。貴重な機会をありがとうございました。
- ◆吉谷先生ありがとうございました。全く分かってなかったのですが、色々とイメージがわ

いてきました。プログラミング的思考は、どの教科でもいろいろやっていて、そのような思考を子供たちにさせていくことが必要で、それをメタ認知させることが必要ですね。ICTを子供の何を育てるために、どう使わせるのかを考えてやらなきゃいけないですね。やっぱり、思考を残させていくべきでしょう。

◆他市の状況や見えそうなヒントをたくさん教えていただいて、参加してよかったです。またこのような情報共有の場があると嬉しいです。ありがとうございました。

◆吉谷先生のご提案から、学びを蓄積する、保存や共有するよさを知ることができました。今後、板書とICT、ノートとタブレットのハイブリット授業が求められるのかなと思いました。吉谷先生のように、全職員を巻き込んで、まずは教師がICTのよさを実感し、研修を深めていきたいと思います。また、思考・共有・再現・評価、変容の実感という考え方の整理が大変参考になりました。教師がいかに意図的にねらいをもって進めていくかがカギとなると感じます。

◆ありがとうございました。皆さんのからの質問や意見が大変参考になりました。

◆昨日は大変勉強になりました！やっぱり、実践している方の話はとても参考になります。また、先生方の生の声は、現場の悩みが分かりやすく、行政にどういう支援が求められているのか参考になりました。本当にありがとうございました。私も、子供達が道具として使えるよう慣れさせることや、自己管理できるような仕組みは必要だと思いました。デジタルとアナログのそれぞれの良さを理解して、教員が上手く組み合わせながら授業に取り入れて行く必要がありますね。

10年近く前に、算数で、問題解決の方法を振り返らせ、算数虎の巻を作らせることを、学年でしました。理想は学年を越えてつないでいき、系統的なものとして活用できるものにしたかったのですが、学年が変わって指導者が変わるとなかなか…昨日のロイノートを使う子供の姿を見て、自分がやりたかったことを実現できるツールになるなど夢を膨らませました。今後ともよろしくお願いします。

◆皆様の発言から、ICTの活用が喫緊の課題であることを痛感しました。現状は、「たまに」それも、「共有」ですが、4月から「いつも」そして「占有」と日常的な活用に環境が激変すると思います。現場では、積極的に取り組む方と難色を示したり抵抗感をもたれたりする方がおられるかと思います。この二者をうまく調整する方はだれでしょうか？学校が一つになれる好機かもしれません。

吉谷先生には、惜しげもなくこれまでの実践を紹介していただき、大変有意義な時間にしていただきました。ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。